

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成29年6月9日

滋賀県知事 殿

提出者

住所 滋賀県草津市矢橋町1660番地

氏名 社会医療法人 誠光会 草津総合病院  
理事長 柏木 厚典

電話番号 077-563-8866

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	社会医療法人 誠光会 草津総合病院
事業場の所在地	滋賀県草津市矢橋町1660番地
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	病院
②事業の規模	719床
③従業員数	1,290名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	廃棄物管理置き場へ医療容器に詰め保管→収集運搬許可業者により収集→同社焼却炉にて焼却→同社管理型立地に燃えがらを埋立

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
病院長(統括責任者) — 総務課長(廃棄物管理担当者) — 各部署(責任者)	

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(平成 28 年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	特管廃油
	排出量	168.39 t	0.49t
	(これまでに実施した取組)		
感染性廃棄物の排出時点で適正な分別仕分けを行い発生を抑制する			
②計画	【目標】排出量10%削減		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	特管廃油
	排出量	151.55 t	0.44 t
	(今後実施する予定の取組)		
上記取組みを継続する			

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
感染性廃棄物：血液等が付着したもの、汚染物あるいは汚染物が付着したもの、これらの恐れがある廃棄物以外の廃棄物を混入しない	
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
感染性廃棄物：他の廃棄物が混入しないように分別の徹底を行い、排出量の削減に努める	

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成          年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成          年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成 28 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感性性廃棄物	特管廃油
	全処理委託量	168.39 t	0.49 t
	優良認定処理業者への処理委託量	168.39 t	0.49 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マニフェスト伝票管理の徹底</li> <li>・ 最終処分場における処理状況の現地確認</li> </ul>		

②計画	【目標】 排出量10%削減		
	特別管理産業廃棄物の種類	感感性廃棄物	特管廃油
	全処理委託量	151.55 t	0.44 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	151.55 t	0.44 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
<p>感染性廃棄物の排出管理を徹底し行う中で一般廃棄物への混入を防ぎ、排出量の削減に取り組む。</p>			
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。